総務省統計局

データサイエンス・オンライン講座
「“わかる・使える”統計解析プログラミング」の概要

【別紙】

講座の目的：プログラミングの有用性、重要性を理解するとともに、実際にPythonを用いてプログラミングの基本を学ぶ
開 講 期 間：令和９年１月12日（火）～３月16日（火）予定
学 習 時 間：１回10分程度×４～７回程度（１週間）×４週
課　　題：各週の確認テストと最終課題の実施
講　　師：富田良治氏（TITC合同会社代表社員）



週	各週のテーマ	内　容
1	データサイエンスの基礎	データの見方や活用の流れなど、データサイエンスの基礎を学ぶ（データサイエンスの必要性、実際の業務への活用事例、データ活用の流れ等）
2	統計解析とPythonの基礎	統計解析やPythonの基礎知識を学び、演習を通じて簡単なコーディングを実践する（統計解析の基礎知識、Pythonの基礎、Pythonによるデータ把握演習等）
3	主要な分析手法	データの把握や予測に使える分析手法についてPythonを用いながら学ぶ（主成分分析、回帰分析、ランダムフォレスト等）
4	データ分析演習	実務での活用を想定したデータ分析を実践する（顧客満足度分析、需要予測分析等）

講座の流れ

講義動画 ⇨ 確認テスト及び最終課題 ⇨ 修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

今年度開講予定のデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)
統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)
令和８年８月

(学習時間)
１回10分程度×６～９回程度（１週間）×４週

(実績)
社会人を中心に延べ
約24万１千人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)
令和８年10月

(学習時間)
１回10分程度×５～８回程度（１週間）×５週

(実績)
社会人を中心に延べ
約10万７千人が受講

「“わかる・使える”統計解析プログラミング

(講座の特徴)
Pythonを使った演習を通じて、統計解析の基礎知識やデータの活用方法まで学べる講座

(開講予定時期)
令和９年１月

(学習時間)
１回10分程度×４～７回程度（１週間）×４週

新規開講

※　今年度、講座全体の構成を見直しました。昨年度まで提供した講座「誰でも使える統計オープンデータ」の講義内容を「社会人のためのデータサイエンス入門」に統合し、新たに「“わかる・使える”統計解析プログラミング」を開講します。